

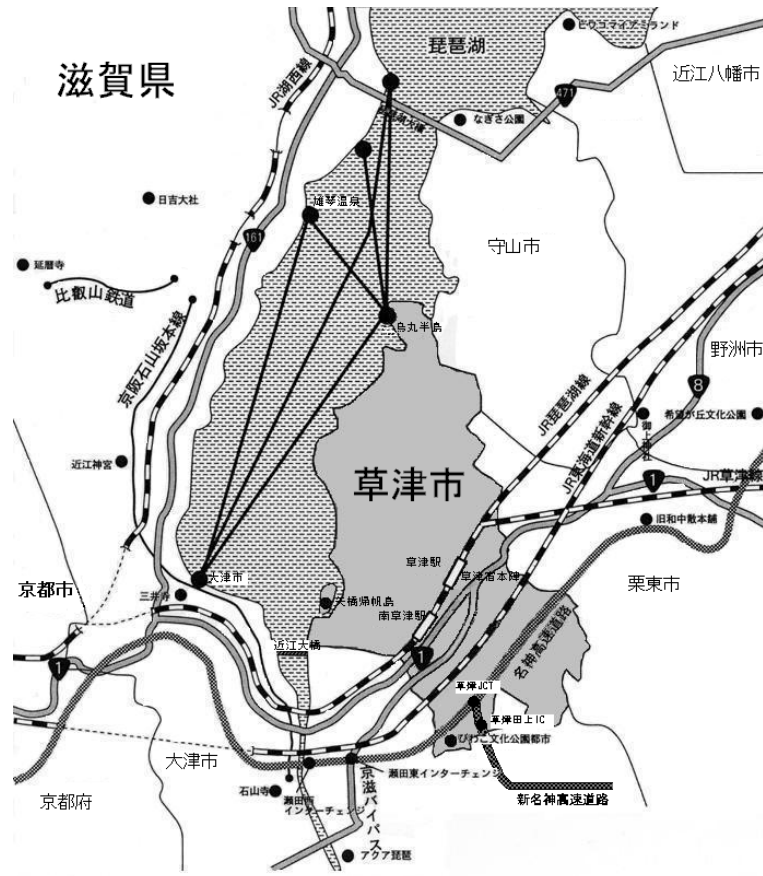
平成24年7月25日（水）  
第1回草津市総合計画審議会  
資料5

# 第5次草津市総合計画について



総合政策部企画調整課  
PLANNING AND COORDINATION DIVISION

# 草津市について



面積: 67.92km<sup>2</sup>  
(48.22 km<sup>2</sup>)

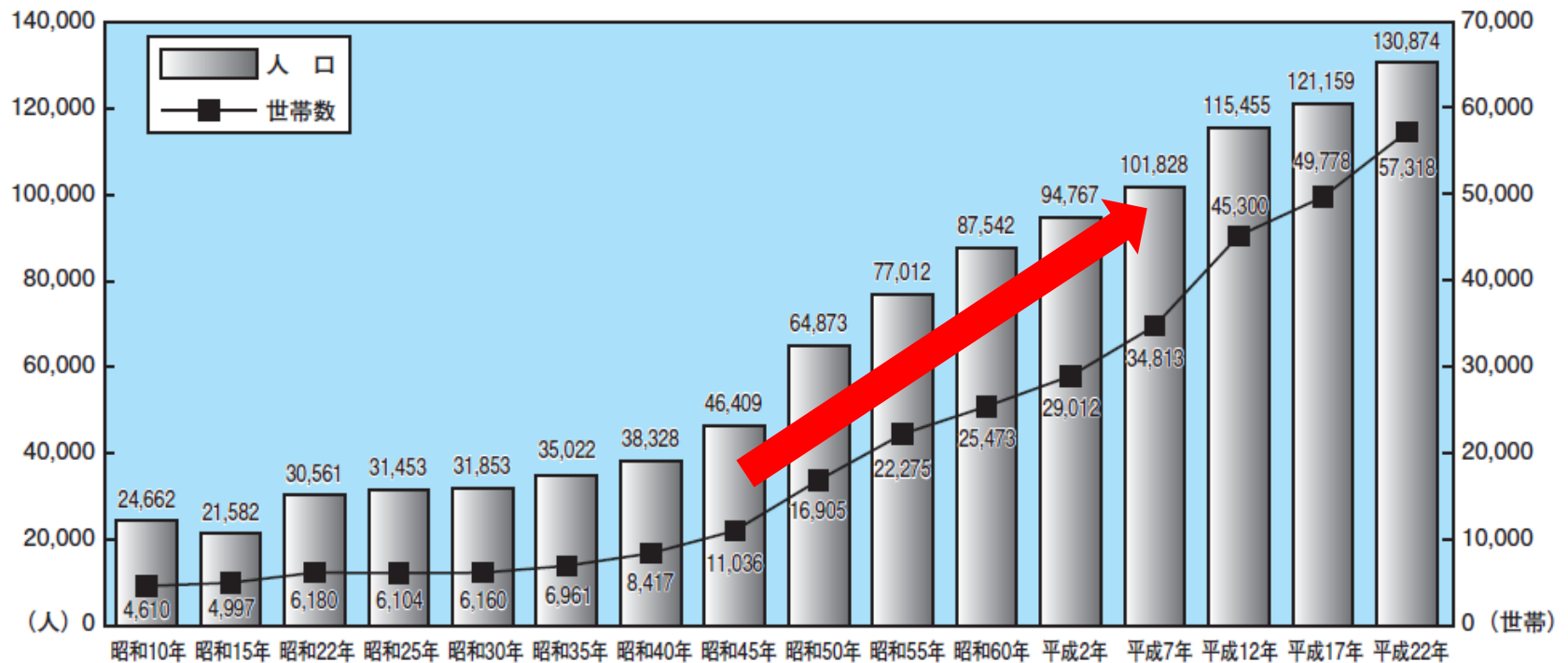
人口: 125,173人

世帯数: 52,296世帯

(h24.5.31現在)

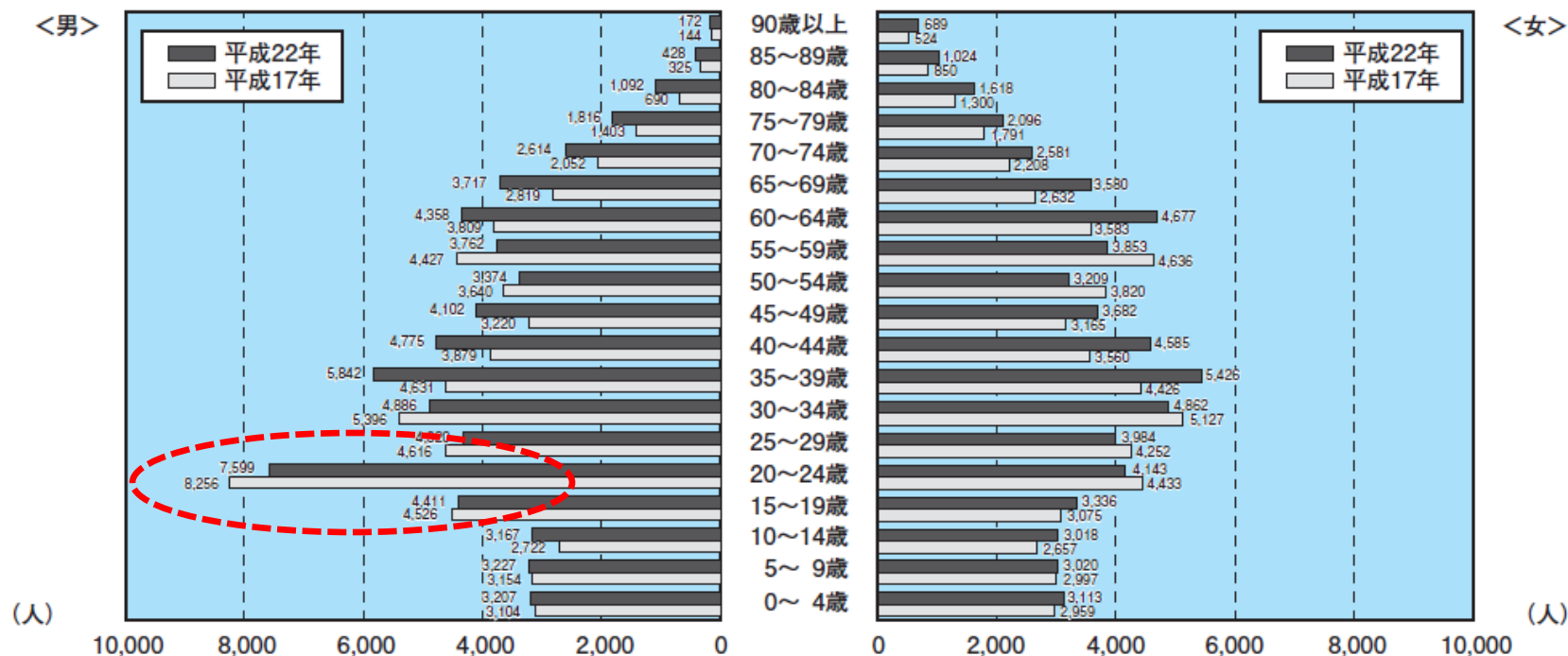
# 人口の推移 (国勢調査)

■本市の人口の推移 (国勢調査、各年10月1日現在)



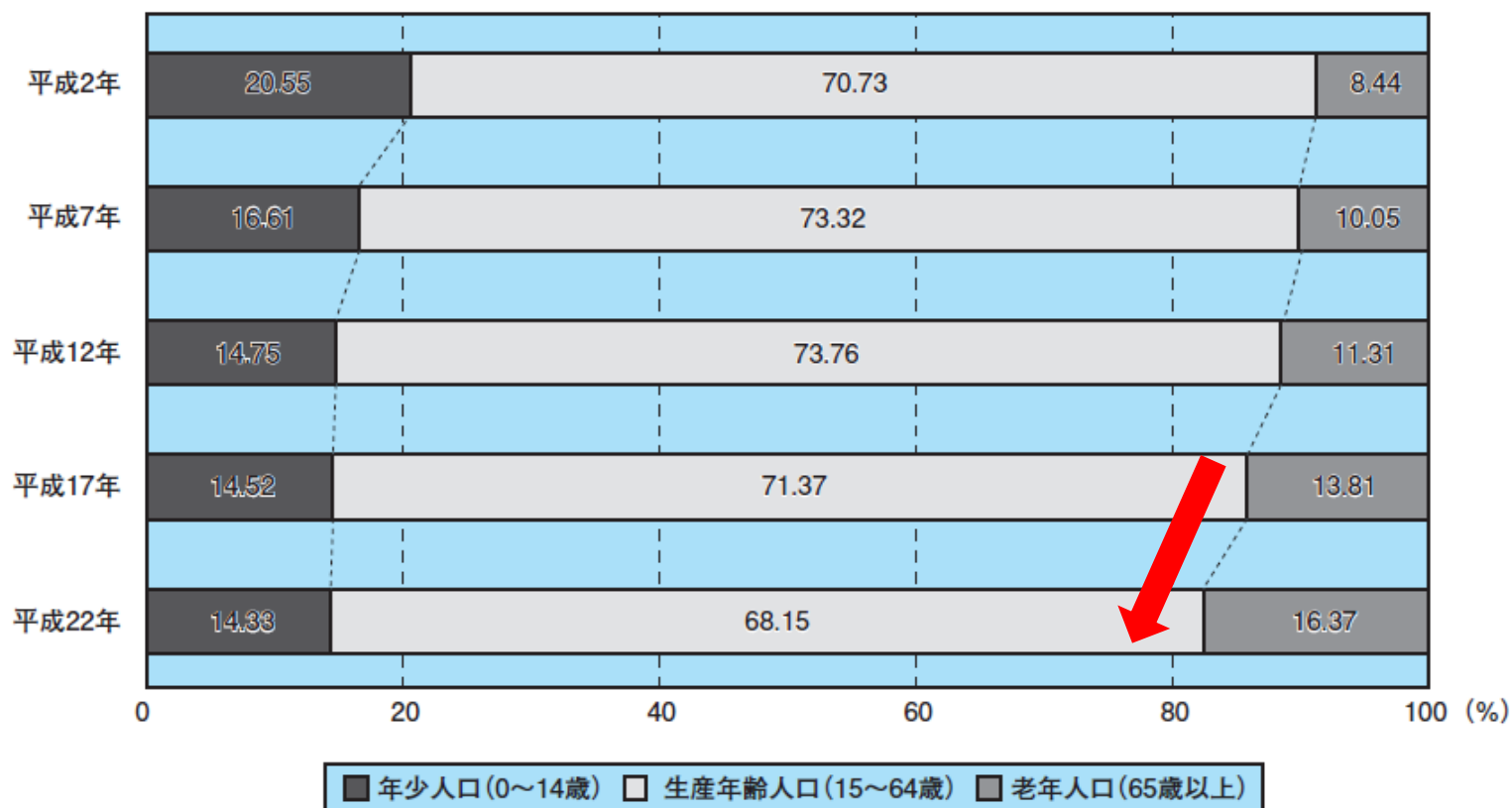
# 年齢別（国勢調査）

## ■本市の人口年齢構成（国勢調査、各年10月1日現在）



# 年齢区分別人口の推移（国勢調査）

■本市の年齢区分別人口の推移（国勢調査、各年10月1日現在）



# 総合計画とは

- ・草津市の全ての計画の基本となる、市政運営の最上位計画。
- ・福祉・環境保全・都市基盤整備・産業振興・教育など様々な分野にわたる事務事業を、一つの方向性のもとに計画的に推進していくことが可能になる。
- ・自治体運営の舵取りとして、重要な役割を果たす計画であるため、市民との協働の視点に立ち、策定段階から市民参加をいただき策定。

## 基本構想 地方自治法第2条第1項第4号

「市町村は、その事務を処理するに当たっては、議会の議決を経てその地域における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想を定め、これに即して行なうようにしなければならない。」→平成23年5月2日 地方自治法の一部を改正する法律（平成23年法律第35号）で、この条文が削除された。しかし、草津市自治体基本条例で議決事項として位置づけている

# 草津市の総合計画

## 【第1次～第4次草津市総合(開発)計画】

### 第1次草津市総合開発計画(1970～)

「調和のとれた10万都市づくり」

- (1)市民のための市政を高めるために
- (2)さわやかな明るいまちづくりのために
- (3)教育と文化を高めるために
- (4)豊かな近代都市づくりのために

### 第2次草津市総合開発計画(1981～)

「活力ある調和のとれた 市民都市をめざして」

- (1)人間性を尊重するまち
- (2)自然の美しさと生活環境を大切にするまち
- (3)歴史と伝統を大切にするまち
- (4)活力を創造するまち

### 第3次草津市総合計画(ハイプラン21)(1991～)

びわ湖の感動都市「活力と魅力あふれる生活文化創造のまち」

- (1)人にやさしい生涯健康のまち
- (2)感性に満ちた草津人のまち
- (3)人が輝き、安心して暮らせるまち
- (4)豊かな活力を実感できるまち
- (5)快適な都市環境を創造するまち

### 第4次草津市総合計画(くさつ2010ビジョン)(1999～)

「パートナーシップで築く 人と環境にやさしい 淡海に輝く 出会いの都市」

- (1)未来を育む人間都市づくり
- (2)安全で快適な環境都市づくり
- (3)淡海に輝く活力都市づくり

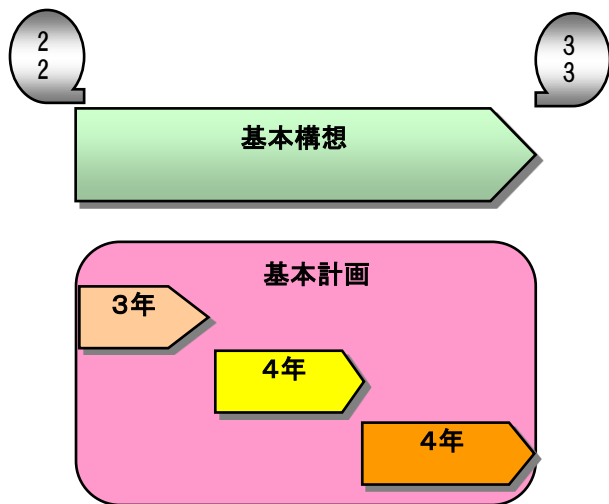
# ◆ 第5次草津市総合計画の策定

- 平成19年度 基礎調査
- 平成20年度～平成21年度 基本構想・基本計画の策定（議会の議決）
- 平成22年度～ 新総合計画による取り組み

## （1）計画の目標年次

総合計画の目標年次は、平成32年度（2020年度）とします。

## （2）総合計画の策定構成と計画期間



### ◆ 基本構想（平成22年度から平成32年度）

基本構想は、本市のめざすまちの将来都市像とその実現のための施策の基本的な方向性を示します。

### ◆ 基本計画（マニフェストとの整合を図る期間設定とします。）

基本構想に基づき、役割分担、目標値や目指すべき姿を示します。

### ◆ 基本計画の見直し

基本計画の考え方をマニフェスト発表後に見直しを行い、その後4年間で基本に計画を進めることとするため、目標は平成32年度（2020年度）の将来像を目指します。



# 第5次草津市総合計画

## 【第5次草津市総合計画】

第5次草津市総合計画は、

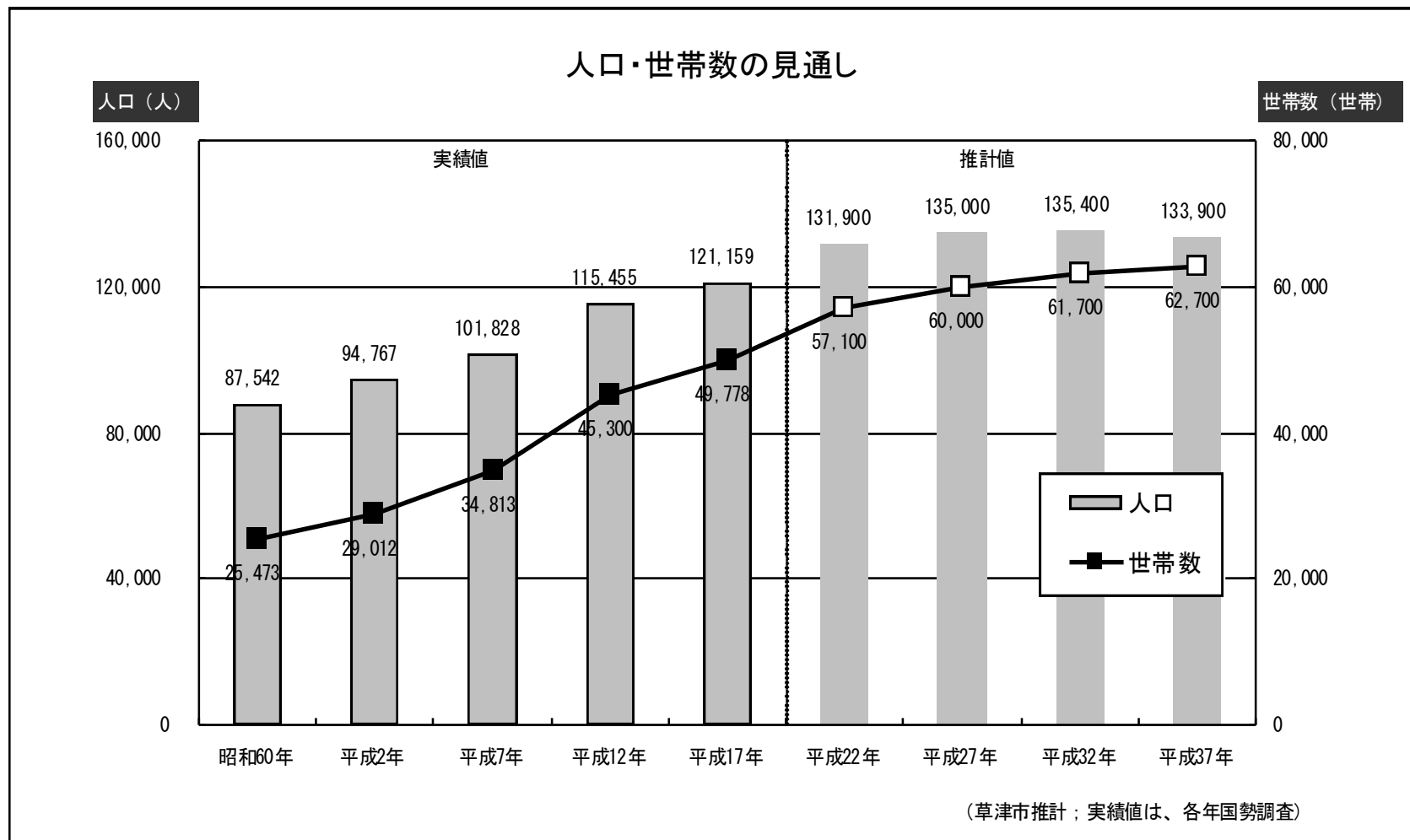
- ①「草津市の現状と課題」
- ②「基本構想」
- ③「基本計画」

で構成しています。



# ①「草津市の現状と課題」

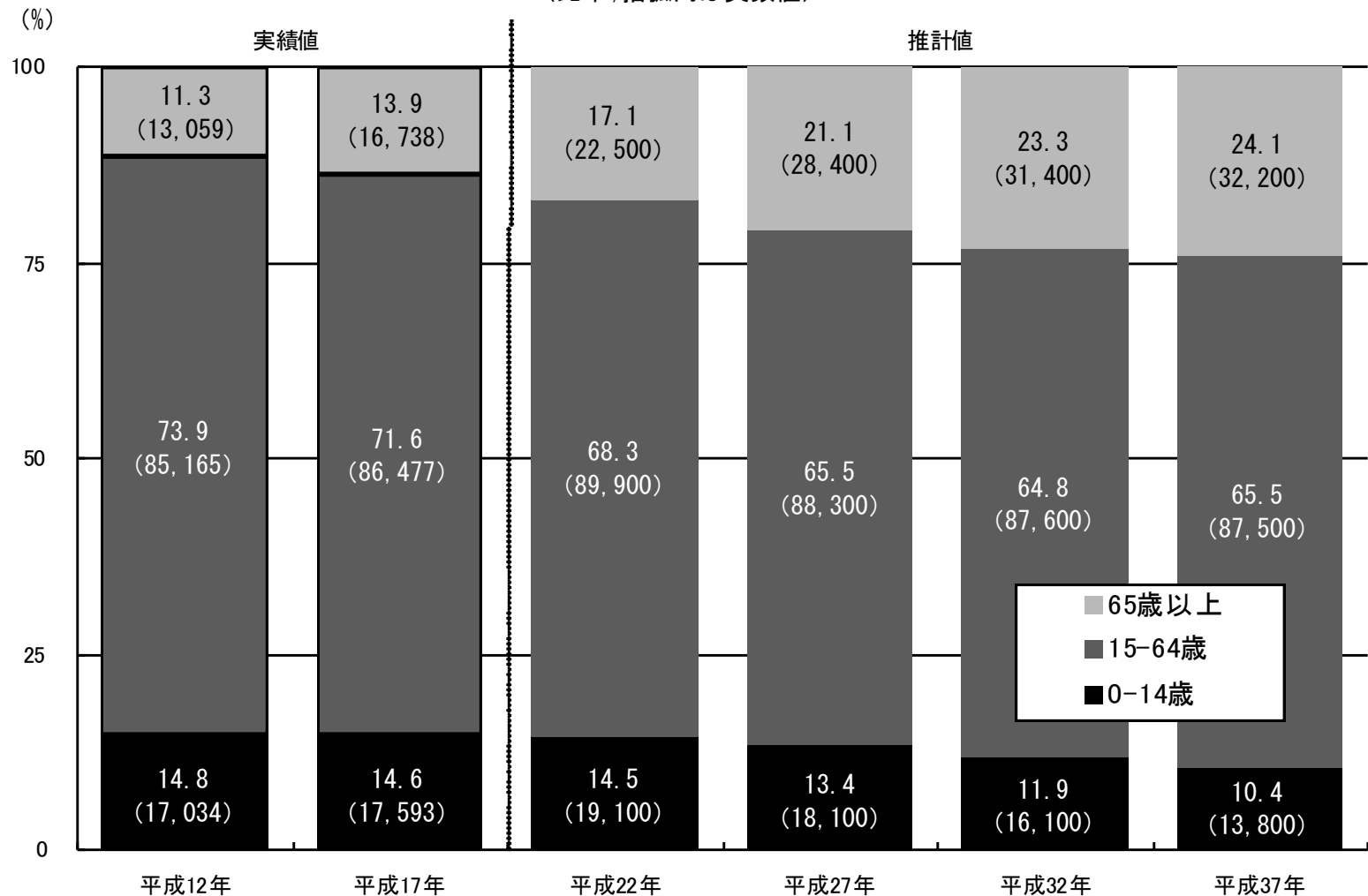
## ◆人口の見通し（１）



## ◆人口の見通し（２）

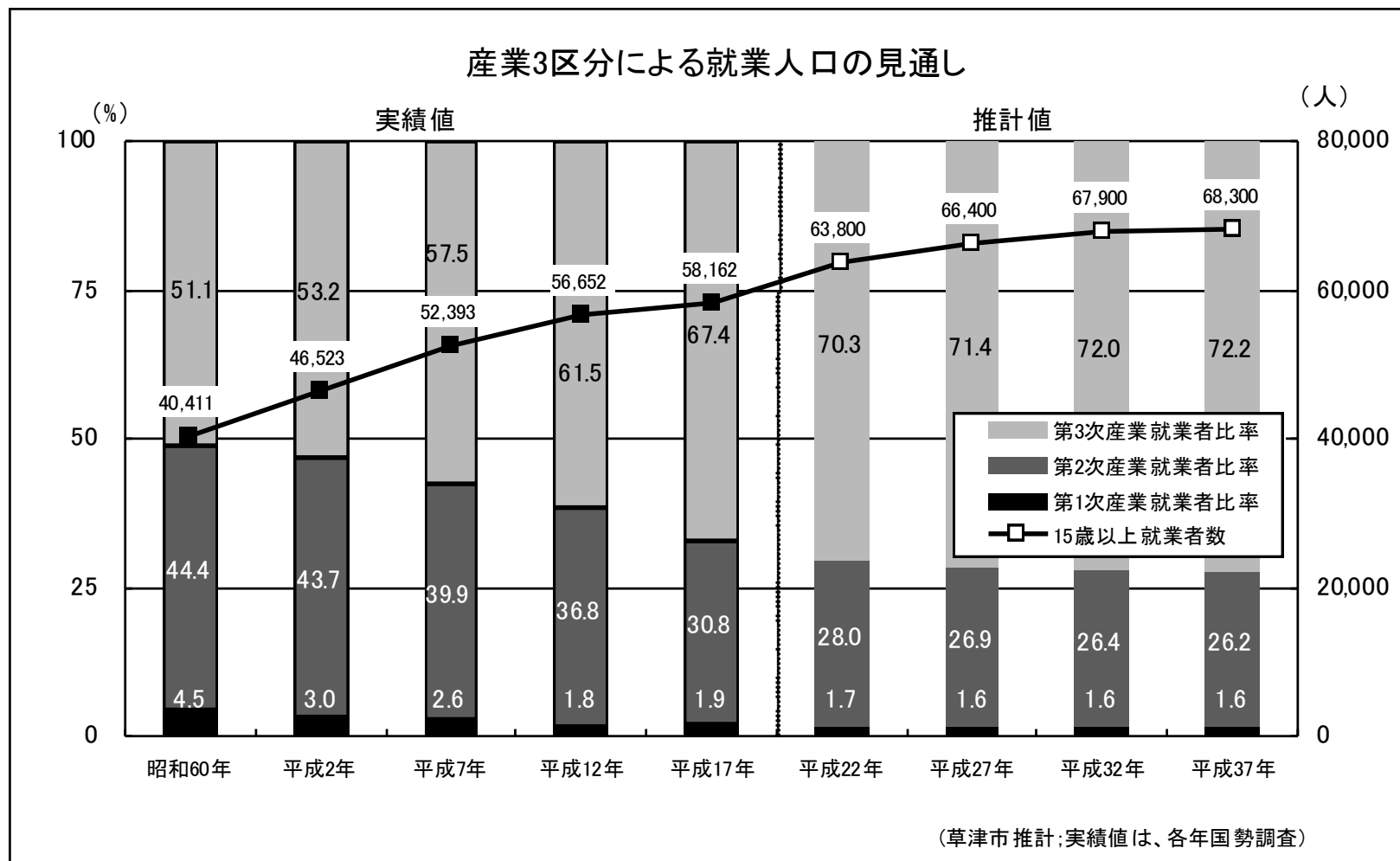
### 年齢3区分による人口構成の見通し

（比率；括弧内は実数値）



（草津市推計；実績値は各年国勢調査。また、比率は年齢不詳を除いた総数に対して求めている）

## ◆人口の見通し（３）



## ◆草津市の主要な課題

### 【人とまち】

- ① “出合い” による市民文化の高まりを
- ② 人が学び育つ仕組みを
- ③ 環境と調和したまちを

### 【暮らしと活力】

- ④ 子ども・子育ての応援と熟年世代の社会参加を
- ⑤ “歩いて暮らせる” まちを
- ⑥ 充実した都市機能のいっそうの活用を

### 【自治と地域経営】

- ⑦ 地域課題に対応できる地域コミュニティを
- ⑧ 市民自治の“新しい段階” への準備を
- ⑨ 地域経営への転換を

## ② 「基本構想」 (平成21年12月22日議決)

### 基本構想

- ・ 将来ビジョン
- ・ まちづくりの基本方向
- ・ 行政の姿勢と役割

### 構想期間

- ・ 平成22 (2010) 年度から  
平成32 (2020) 年度まで

- 市民と行政がともに将来に描いて共有する、これからの草津市のまちづくりの構想（グランドデザイン）です。
- 草津市議会における議決を受けて策定しています。



# 1. 将来ビジョン

## (1) 将来に描くまちの姿

『出会いが織りなすふるさと  
“元気”と“うるおい”のあるまち 草津』

高いところざし



親しみと憧れ



出会いと交流



自負と責任



# 1. 将来ビジョン

## 基本フレーム

### ①将来人口

135,000人

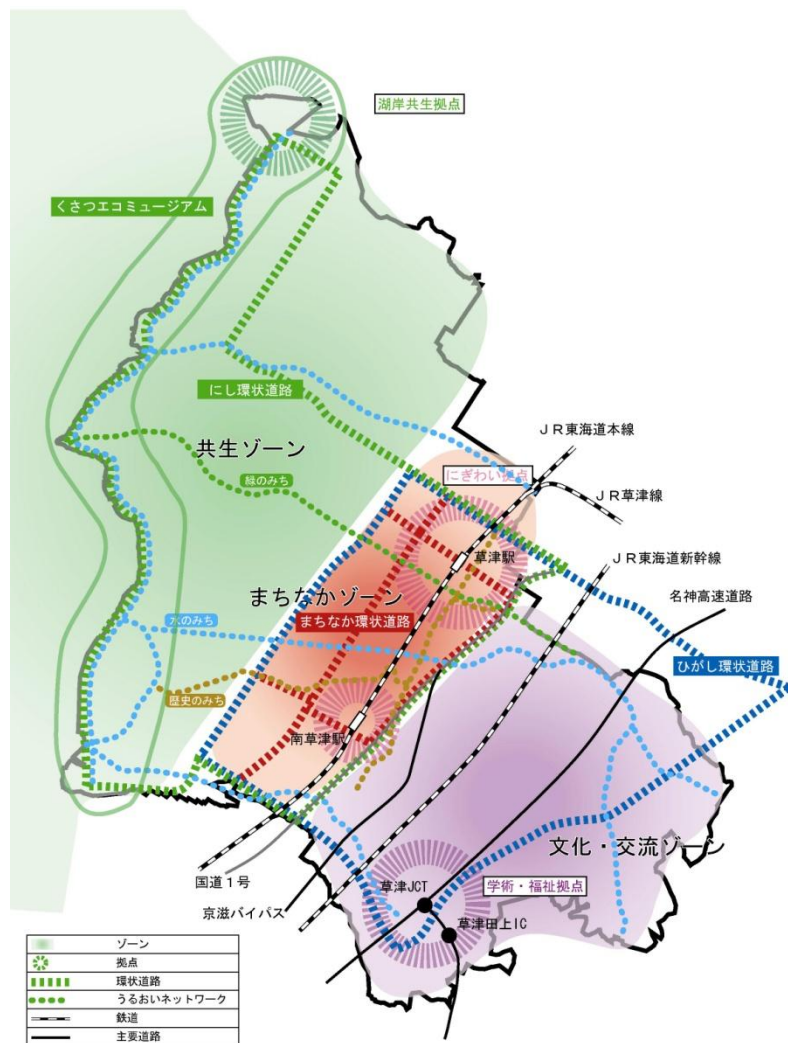
### ②まちの構造

「ゾーン」

「都市拠点」

「環状道路」

「うるおいネットワーク」





## 2. まちづくりの基本方向

### (1)「人」が輝くまちへ

人権／男女共同参画／生涯学習・スポーツ／教育・青少年／市民文化

### (2)「安心」が得られるまちへ

子ども・子育て／長寿・生きがい／障害福祉／地域福祉／健康・保険／  
生活安心／防犯・防災

### (3)「心地よさ」が感じられるまちへ

うるおい・景観／環境／住宅・住生活／上下水道／道路・交通

### (4)「活気」があふれるまちへ

農林水産／商工観光／コミュニティ・市民自治／情報・交流

## 3. 行政の姿勢と役割

### (1)地域経営への転換

### (2)協働のまちづくりの基盤強化

### ③ 「第 1 期基本計画」

(平成 2 2 年度～平成 2 4 年度)

#### 基本計画

- ・リーディング・プロジェクト
- ・地域経営の方針
- ・分野別の施策
- ・行財政マネジメント

#### 計画期間

平成22 (2010) 年度から平成24  
(2012) 年度まで



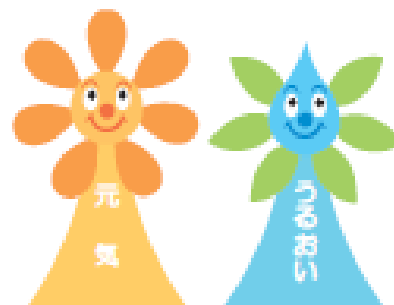
# ◆リーディング・プロジェクト

シビック・プライド

ふるさと草津の心をつくる 3つのリーディング・プロジェクト

## 水と緑と文化に満ちた暮らしプロジェクト

- ・ 市民文化の拠点づくり
- ・ 市民文化を未来につなぐ活動への支援
- ・ 草津川廃川敷地を活用した憩いの空間づくり
- ・ 「くさつエコ・ミュージアム」の展開
- ・ 「うるおいネットワーク」づくり



## 市民が学んで築く地域プロジェクト

- ・ 子どもの育ち・学びの応援
- ・ 地域と大学が連携するまちづくり
- ・ 地域社会における新しい市民自治づくり
- ・ 地域の「福祉力」の向上
- ・ 地域の防犯・防災力の強化

## はつらつ草津の未来プロジェクト

- ・ 「草津ブランド」の強化
- ・ 市内産業の集積・ネットワーク化の促進
- ・ **滋賀の魅力拠点となる“まちなか”づくり**
- ・ 「農」に親しむ交流活動の促進
- ・ 草津の暮らしを楽しみ観光プロデュース

## ◆地域経営の方針

# 地域経営の方針 （新たな公共領域の広がりに向けた対応）

### ■「公共」の領域の広がりへの対応

- （１）行動主体の役割分担と協働
- （２）コミュニティの働きの重視

### ■厳しい財政状況のもとでの行財政マネジメント

- （１）徹底した行財政改革の推進
- （２）「選択」と「集中」による事業の重点化
- （３）行政評価システムの刷新と公会計制度改革
- （４）自治体運営の自律性の強化
- （５）公共施設の適正配置及び必要経費の平準化
- （６）近隣自治体との連携強化
- （７）財務体質の強化



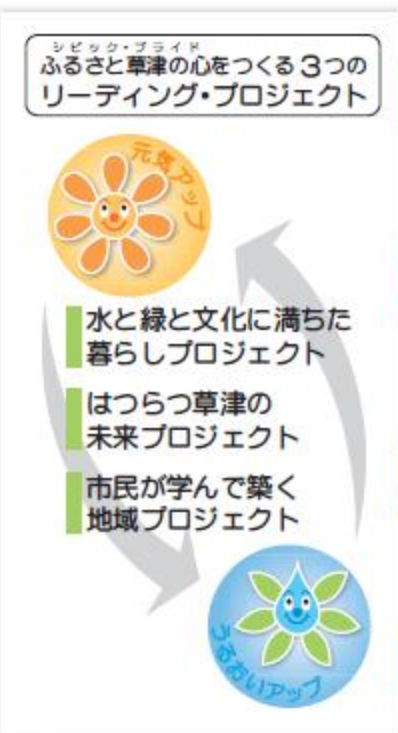
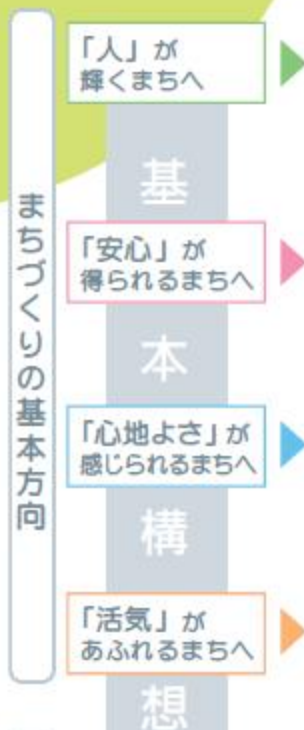
# ◆分野別の施策（概要）

## 基本計画

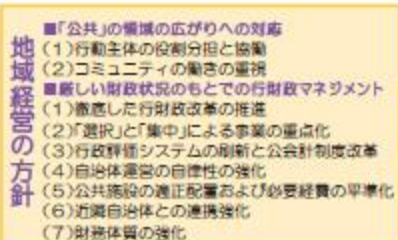
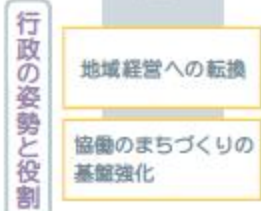
第1期／平成21(2009)年度から平成24(2012)年度まで  
第2期／平成25(2013)年度から平成27(2015)年度まで  
第3期／平成28(2016)年度から平成30(2018)年度まで

## まちづくりの基本方向と基本計画の構成

○この計画では、市民と行政の協働の取り組みによって、基本方針ごとに達成目標を設定しています。  
○今後、第1期基本計画に基づくまちづくり全体の進み具合が一覧できるようにし、市ホームページ等を通じて広報を図っていきます。



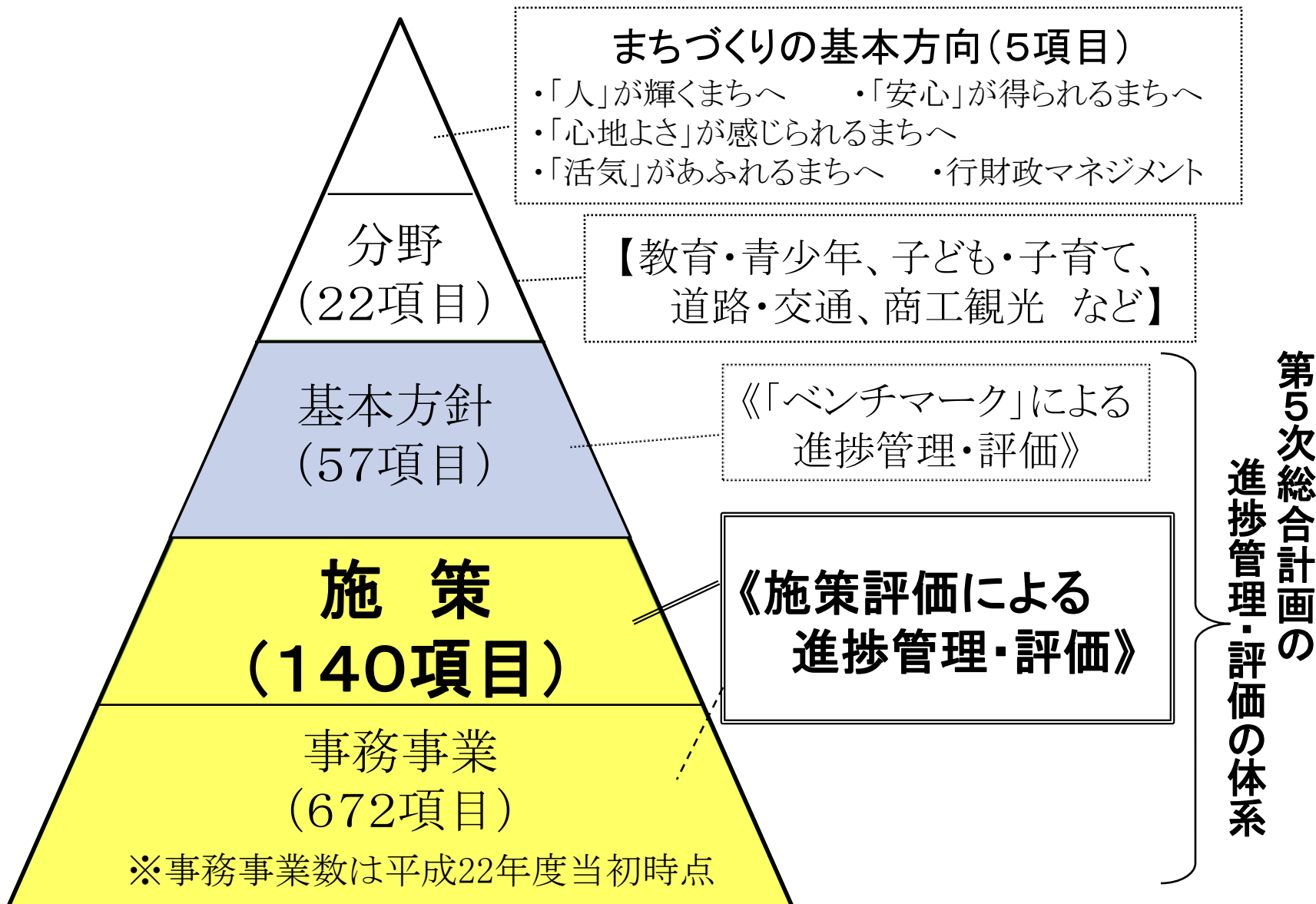
## 分野別の施策



## 行政マネジメント



# ◆基本計画(第1期分)の政策・評価体系



# 第1期基本計画（抜粋）

「心地よさ」が感じられるまちへ

## うるおい・景観

### 基本方針

現況

市域の広範囲で開発事業による宅地化が進んでいますが、市民がやすらぎと憩いを得られる場所が不足しています。

課題

総合公園から街区公園まで、利用目的に応じた公園の整備が求められるとともに、まちなみに緑を増していくことが求められています。

### やすらぎ・憩いの環境づくり

公園・緑地の整備充実を図るとともに、まちなみ緑化や水辺空間の整備・活用を図って、まちに“うるおい”をつくっていきます。

現況

優れた景観は、市民の心に安らぎやゆとりをもたらすだけでなく、この地を訪れる人にまで感動を与える市民共通の財産です。

課題

歴史的・文化的資産を生かした景観、自然景観などを保全・活用するとともに、良好なまちなみ・都市景観の創出を進めていく必要があります。

### 良好な景観の保全と創出

自然的・歴史的景観の保全・活用、良好な都市景観の創出について、その景観資源に携わる人の営み（文化・生活）を含めた多面的な観点からの取り組みの推進を図っていきます。



#### ■この分野の計画

- ・緑の基本計画（平成23年度～平成32年度/公園緑地課）
- ・草津市景観形成基本計画（平成元年度～/環境課）



### 施策

### 概要

#### ①公園・緑地の整備

緑の基本計画に基づき、緑化重点地区と都市公園の整備を進めるとともに、子どもの居場所の適切な整備を行います。

#### ②まちなみ緑化の推進

建物屋上や壁面、駅前、それぞれの住宅などの緑化を促進するとともに、緑化フェア等を通じて普及啓発を行います。

#### ③水辺空間の活用

恵まれた水辺環境を、まちと市民生活のうるおい資源・親水空間として整備し生かしていきます。

#### ④草津川廃川敷地の活用

草津川廃川敷地について、自然と調和した市民の憩いの場、まちなかの安全空間としての活用を図るため、市民、関係機関等との協議・調整を行い、整備を進めます。

#### ⑤自然的・歴史的景観の保全と活用、都市景観の形成

宿場と街道のまちなみ形成を図るなど良好な景観の保全と創出に努めるとともに、良好な都市景観を形成を誘導・促進します。





# 第1期基本計画（抜粋）

## 私たちの達成目標と行動の指針

やすらぎ・憩いの  
環境づくり



市民が利用できる  
公園・緑地が増える！

良好な景観の  
保全と創出



誰もが快適で心地よいと  
感じる場所が増える！

達成目標

行動の指針

指標	公園・緑地面積 (ha)				市内および居住地周辺の景観に好感が持てると感じる市民の割合 (%)			
	H.21	H.22	H.23	H.24	H.21	H.22	H.23	H.24
	62.6	64.5	64.6	64.7	27.5	28.0	28.0	31.0
	担当課 公園緑地課				担当課 都市計画課			
行政	<b>（施策展開において）</b> ○公園・緑地の活用のある方を再検討し、市民ニーズに応える公園・緑地の整備を推進します。 <b>（協働の視点）</b> ○市民との協働により、公園・緑地を計画的に整備します。				<b>（施策展開において）</b> ○統一感とゆとりのある都市景観づくりに努めます。 <b>（協働の視点）</b> ○良好な景観の創出の具体的取り組みとなる、地区計画等の制度の活用を促進します。			
	○利用者の立場で公園整備に参加します。 ○公園の維持管理に対して積極的に役割を果たします。				○生活者の立場から、快適で心地よい地域の空間づくりに努めます。			
市民・地域	<b>（企業・大学等）</b> ○公園整備、管理のあり方について研究、実践を行います。				<b>（企業・大学等）</b> ○企業や大学等において、快適で心地よいと感じる空間づくりに取り組みます。			
事業者等								

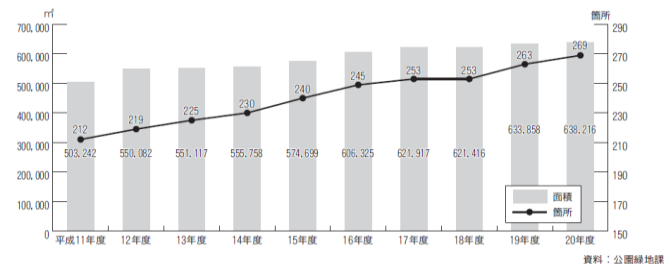
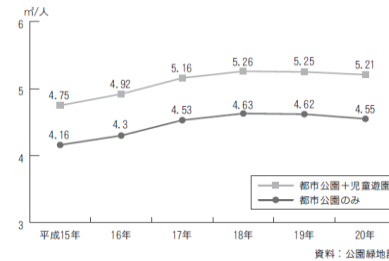


## この分野の主要な事業

基本方針	施策	主要事業	
		名称	担当課
やすらぎ・憩いの環境づくり	①公園・緑地の整備	主 ロクハ公園整備事業	公園緑地課
	②まちなみ緑化の推進	主 花街道推進事業 ① 緑化を推進する市民運動展開事業	公園緑地課 公園緑地課
	③水辺空間の活用	主 草津川緑地整備事業 主 平湖・柳平湖利活用等検討事業	公園緑地課 企画調整課
	④草津川・廣川敷地の活用	主 草津川跡地利用構想促進事業 ① うるおいネットワーク推進事業	企画調整課 都市計画課
良好な景観の保全と創出	①自然的・歴史的景観の保全と活用、都市景観の形成	主 地域街なみ形成推進事業 ① うるおいネットワーク推進事業 主 風致地区審査事務	都市計画課 企画調整課 公園緑地課

このお住まいのまちづくり

公園・遊園地等の推移





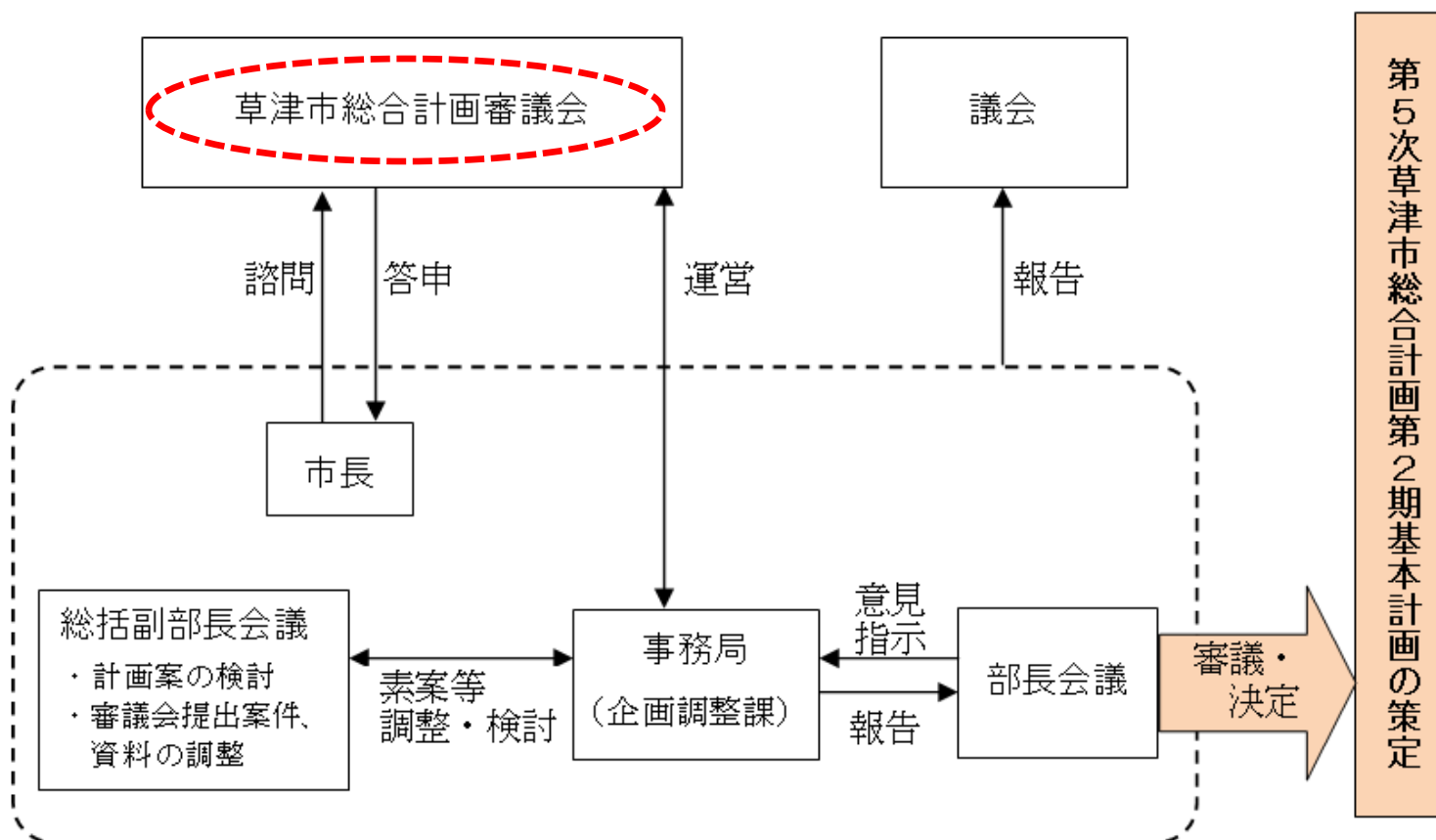
# 第2期基本計画の策定

第5次 草津市総合計画	年 度											
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
基本構想	策定 年度	構想期間										
基本計画		第 1 期										
				策定 年度	第2期							
								策定 年度	第3期			
総合計画の総括											総括 年度	策定 年度

- 第1期基本計画の計画期間が平成24年度で終了することから、平成24年度中に、平成25年度から平成28年度を計画期間とする第2期基本計画を策定します。

## ◆第2期基本計画 策定体制のイメージ

第5次草津市総合計画第2期基本計画 策定体制のイメージ



## ◆ マニフェストとロードマップについて

### マニフェスト

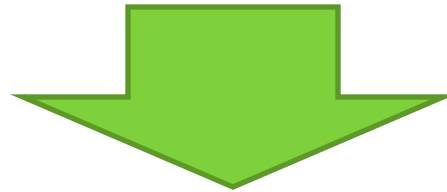
選挙に際して、候補者が当選した際に実施する政策を掲げたもの。

有権者に対する約束。公約。



### ロードマップ

公約して掲げたマニフェストを市の事業として位置付け、実現していくための各事業の工程表。



なぜロードマップが必要か？

市としての取組みを明確にし、着実に、丁寧に各施策・事業を実行するため、また、市民の皆様に事後の検証や評価をしていただくため、ロードマップを策定します。

## ◆ロードマップの策定について



4政策、77事業を  
市の計画へ

- ・財政運営計画との整合  
や、指標の設定を行い、  
策定していきます。

策定予定

【暫定版】平成24年 7月

【完成版】平成24年10月

# ◆ロードマップ案（抜粋）

「さらに草津」宣言ロードマップ（策定に向けて）

政策1 安心をさらに。ー草津の教育・福祉ー							
施策	事業	担当課	事業内容	平成23年度以前の取り組みにおける成果や効果		平成24年度	平成25年度～平成27年度の取り組みの方向性
教育環境を改善・充実し	1	少全 の人小 実数学 施学校 級で	学校 教育課	◆小中学校の一部の学年で実施されている少人数学級編制を、小学校のすべての学級で実施する。	◆新規事業	当初実行計画 ◆少人数学級編制（35人学級編制）の実施 予算額 8.4百万円	◆継続実施 ※※※
	2	特別 支援教 育の充 実	学校 教育課	◆ことばの教育指導員による通級指導の充実を図り、発達支援センター等とも連携しながら、特別支援教育をさらに推進する。 学校すこやかサポート支援員の配置により、特別支援を要する児童生徒へのきめ細かな指導支援をさらに充実する。	◆草津市ことばの教室は平成17年度より事業を開始し、当初36人であった相談者数が、平成23年度には120人に増加している。指導内容が、保護者や園所の依頼につながり、相談内容も言語面にかかわるものから、発達障害全般にかかわるものへと広がってきている。	当初実行計画 ◆通級指導の充実・全小中学校に学校すこやかサポート支援員を配置 予算額 68.5百万円	◆継続実施 ※※※
	3	老上小 学校の 分館・新 設	学校 教育課 ・ 教育施設 整備室	◆近年児童の増加が著しい老上小学校について、将来の児童数の推移等を見極めながら、平成28年度開校を目標に分館・新設を進める。	◆新規事業	当初実行計画 ◆新小学校基本計画策定 ◆審議会にて校区設定検討 予算額 5.7百万円	◆基本設計 ◆実施設計 ◆建設工事 ※※※

- ・数字や矢印を用いて、わかりやすく作成します。
- ・今後、財政運営計画との連動や、指標の設定により、毎年の進捗状況の確認を行っていきます。